

A1582 バッテリー交換マニュアル

MacBook Pro Retina 13 インチ Late 2013 / Mid 2014 / Early 2015 対応

交換作業を始める前の注意事項（重要）

- ✓ パソコンの電源を完全にオフにしてください。※スタンバイ状態も不可です。故障の原因になります。
- ✓ 手から静電気を取り除くために、手を壁などの物に触れてください。
※交換作業中に、パソコンに電流が流れる要因を完全に取り除くことが不可欠です。
- ✓ 交換作業は丁寧に慎重に行ってください。特に、バッテリーやその他の部品を取り外したり脱着させたりする作業は丁寧に行わなければ、故障の原因になります。（バッテリー自体の不具合以外は、補償の対象外です）
- ✓ 作業が安全にできる場所を確保してください。※落下、加熱、水濡れ、等の危険性の無い場所

交換前の準備

- ✓ 75%濃度のアルコールと、それを入れる容器をご準備下さい。
※アルコールはドラッグストア等で、容器はコンビニや百元均一等で調達可能です。
※古いバッテリーの取り外しの際、接着剤を溶かすために使用します。
- ✓ バッテリーの他、付属品の有無をご確認下さい。
 - ・ドライバー三本、スキッド、不織布、ヘラ（カード形状のプラスチック）
 - ・ビニール手袋も付属していますが、なくても大丈夫です。代わりに、静電気の除去をしっかりと行って下さい。
- ✓ 予備知識として、五つ星ドライバーは背面カバーのみで使い、PC 内部では全て六つ星ドライバーを使います。
- ✓ 紙とペンを準備することをお勧めします。取り外すネジの形状が数種類あるため、外した後に、紙に外した箇所や番号などのメモを書き、その上にネジを置いておくようにすると、ネジを付ける際に混乱しません。



その他

- ✓ 本交換マニュアルは、「MacBook Pro (Retina, 13-inch, Early 2015)、機種 ID : MacBookPro12,1」で行ったものです。2013 年・2014 年式のモデル（機種 ID : MacBookPro11,1）の場合、ネジの数や位置が若干異なる場合もございますので予めご了承下さい。
- ✓ 交換の際、以下の動画も手順も合わせて確認すると、よりわかりやすいかもしれません。また以下の動画では、2013 ~ 2014 年式のモデルで交換を行っているため、それらの年式のモデルでの交換の際は、合わせてご覧になることをお勧めします。

[How to Replace the Battery in a MacBook Pro Retina 13-inch \(late 2013 to early 2015\)](#)

バッテリーの交換を始める



手順 1 : 画面とキーボードとの間に不織布を挟んで下さい。画面の保護のためです。



手順 2-1 : 5つ星ドライバーで、背面カバーのネジを全て取り外します。(計 10 カ所)



手順 2-2 : 背面カバーを外すと、写真のような状態になります。※チェックマークは次の手順で外す場所です。



手順 3 : バッテリーとパソコンを接続しているバッテリーポートを外してください。力を入れ過ぎないで、丁寧に上に引き上げるイメージです。⇒[動画で確認する](#)



手順 4 : 六つ星ドライバーで、バッテリー回路基板のネジを外してください。※2013, 2014 年モデルの場合、緑の○付近にも外す必要のあるネジがあります。



手順 5 : 左右に取り付けられているスピーカーネジを外して下さい。合計六ヶ所ありますが、箇所によってネジのサイズが異なりますので、外したネジを置く際にメモをしておくことをお勧めします。 ※2013, 2014 年モデルの場合、緑の○付近のネジも外して下さい。



手順 5-2 : スピーカーを取り外し、裏返しにしてバッテリー上部に置いて下さい。ケーブル等がいたまないよう丁寧に取り扱いってください。



手順 6 : 六つ星ドライバーで、ネジコントロールボードのケーブルポートのネジを外して下さい。(二カ所) 外したら、そのまま保護カバーも外して下さい。 ※モデルによっては、バッテリー中央部に被さっているケーブルがありません (オレンジ線)。その場合は、この手順 6 はスキップして下さい。



手順 6-2 : 外したら、そのまま保護カバーも外して下さい。



手順 6-3 : コントロールパッドのケーブルポートを取り外して下さい。スキッドを使用することができます。



手順 6-4 : コントロールパッドのケーブルを剥がし、反対方向に置いて下さい。



手順 7-1 : ヘラとアルコールを使って、バッテリーを剥がして下さい。(外側のバッテリーから外していきます) 純正のバッテリーは、かなり強めに接着されている場合もありますので、以降の手順も見ながら慎重に作業して下さい



手順 7-2: コツとしては、接着部にアルコールを流した後、ヘラを接着部にセットし、バッテリーの下側に滑り込ませるような方向で、ヘラを左右に振りながら力をぐいぐい入れていきます。力の入れ方と方向が掴めれば、比較的短時間で取り外すことができるはずです。⇒[動画で確認する](#)



手順 7-3: 両側の四つのバッテリーを剥がせたら、最後に真ん中の二つのバッテリーを剥がします。図ではバッテリーの外側から（緑色）剥がしていますが、真ん中（オレンジ色）にヘラを食い込ませて外すことも可能です。



手順 8-1: バッテリーを取り外した後、接着物質が残りますので、スキッドと指を使って全て取り除いて下さい。



手順 8-2: コツとしては、スキッドで接着剤の端を浮かし、それを指の爪でつまんで丁寧に剥がしていくと、比較的に簡単に取り除いていくことができるはずです。



手順 9-1: 新品のバッテリーをご確認下さい。背面の保護シートを取り外して、パソコンに取り付けて下さい。位置が正確になるよう、バッテリーの端とパソコンの取付部の端が合うよう、丁寧に取り付けて下さい。



手順 9-2: 正確な位置に取り付けたら、表面のフィルムを取り外して下さい。



手順 9-3 : 新品のバッテリーが正しい位置に収まったことを確認します。見るポイントの参考として、オレンジ色部分にはスピーカーが収まりますので、ある程度の間隔がある必要があります。緑色部分は、シルバーのアルミ部分の形状にフィットしている必要があります。



手順 10 : ここからは、これまでの手順の逆戻りをしていきます。まず、バッテリー回路基板のネジを取り付けて下さい。(オレンジ)



手順 10-1 : コントロールパッドのケーブルを取り付けて下さい。



手順 11-2 : 保護カバーを取り付け、ケーブルポートのネジを締めて下さい。(二カ所)、



手順 12-1 : 両側のスピーカーを元の場所に取り付けて下さい。(手順 5 を参考)



手順 12-2 : スピーカーのネジを締めて下さい。(手順 5 を参考)



手順 13 : バッテリーとパソコンを接続しているバッテリーポートを付けて下さい。丁寧に付けて下さい。(手順 3 を参考) ※正しく接続されていないと、パソコンがバッテリーを認識できないトラブルが発生しますので、その点を踏まえ、丁寧に正しく取り付けして下さい。



手順 13-2 : 一通りの取付が完了し、バッテリーが正確な位置に収まったことを確認できたら、手でバッテリーを丁寧に下に押し込んで、接着部がしっかりと接着するようにして下さい。



手順 14 : 背面カバーを取付、全てのネジを締めて下さい。



手順 15 : Mac を起動し、バッテリー情報がちゃんと表示されていることをご確認下さい。起動後に、左上リンゴマーク⇒この Mac について⇒システムレポート⇒ハードウェア⇒電源 で表示できます。

手順 16 : 交換作業お疲れ様でした。最後に、電源アダプターで一度バッテリーを 100%まで充電し、その後 10%以下まで放電して下さい。(Mac がバッテリーを正しく認識し、残量等が正しく表示されるようになるため、一度このように充電～放電のサイクルを繰り返す必要があります。)

動作に問題がある場合は、速やかに購入されて店舗へご連絡下さい。

WorldPlus

お問い合わせ先: weagle.gl@gmail.com